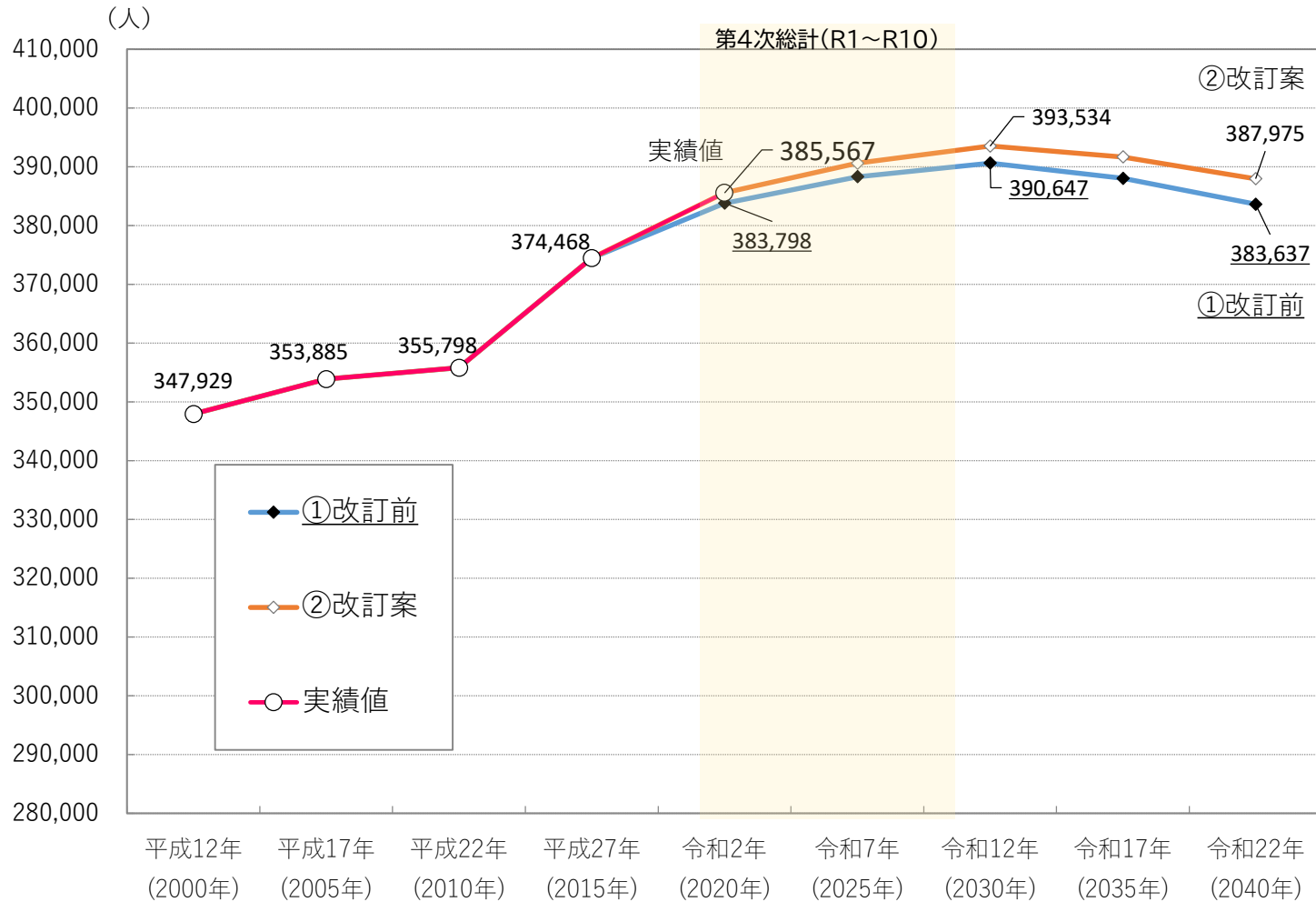


# 1 第4次総合計画改訂版 人口推計案 (①改訂前・②改訂案)



## 2 第4次総合計画改訂版 人口推計案 年齢3区分構成人数・比率

(万人)

		2020	2025	2030	2035	2040
①改訂前	総人口	38.4	38.8	39.1	38.8	38.4
	0～14歳	5.2	5.0	4.6	4.3	4.1
	15～64歳	23.9	24.3	24.3	23.5	22.2
	65歳以上	9.3	9.6	10.2	11.0	12.1
	(75歳以上)	4.8	5.8	6.1	6.1	6.4
②改訂案	総人口	38.6	39.1	39.4	39.2	38.8
	0～14歳	5.2	5.1	4.8	4.4	4.3
	15～64歳	24.2	24.5	24.6	23.9	22.6
	65歳以上	9.2	9.5	10.0	10.9	11.9
	(75歳以上)	4.8	5.8	6.1	6.0	6.3

(%)

		2020	2025	2030	2035	2040
①改訂前	0～14歳	13.5	12.8	11.8	11.1	10.8
	15～64歳	62.3	62.5	62.2	60.5	57.8
	65歳以上	24.2	24.7	26.0	28.4	31.4
	(75歳以上)	12.6	15.1	15.7	15.7	16.6
②改訂案	0～14歳	13.5	13.0	12.1	11.3	11.0
	15～64歳	62.6	62.8	62.4	60.9	58.3
	65歳以上	23.8	24.3	25.5	27.8	30.8
	(75歳以上)	12.4	14.8	15.4	15.4	16.2

### 3 第4次総合計画人口推計 推計方法

#### ①改訂前：2020年から2040年までの5年ごとの人口を推計

項目	方法等
推計フレーム	コーホート要因法
【実績値】 ベースとなる人口	平成27年（2015年）国勢調査の総人口及び男女別・年齢5歳階級別人口
【仮定値】自然増減	<p>社人研「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」における吹田市の比率を使用</p> <p>（1）出生 吹田市の子ども女性比（0-4歳人口と15-49歳女性人口の比）：0.18前後 →合計特殊出生率（1人の女性一生の間に生む子どもの数）に換算：1.3前後</p> <p>（2）死亡（性別・年齢5歳階級別の生残率から推計）</p>
【仮定値】社会増減	<p>純移動率（1,000人あたりの移出入の割合）を使用</p> <p>（1）市域全体：転入超過傾向が継続（ただし規模は縮小）を想定 2010年～2015年の国勢調査における純移動率（千里ニュータウン以外）がベース 2015年～2020年：その純移動率から半減 2020年以降：その純移動率を維持</p> <p>（2）千里ニュータウン：H18～H27の10年間の開発動向と今後の計画、残された開発余地等から想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅開発がなされた際の1戸当たりの人口増加数を3.1人と想定（過去実績）</li> <li>・開発余地のうち、過去の実績から面積当たりの戸数の平均値を算出し、新規開発戸数を想定（既存住宅の建て替え相当分の戸数は除く）→今後20年で3,152戸の開発見込み</li> <li>・想定増加人口は<math>3,152戸 \times 3.1 = 9,771人</math></li> <li>・その人数を2015～2030年の間を3期に分けて増加人数を割り振り</li> </ul>

#### ②改訂案：2025年から2040年までの5年ごとの人口を推計

①と同じ推計方法。ただし、令和2年（2020年）の人口を推計値から実績値に置き換え